

氏名	菅 田 毅		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 4 8 0 号		
学位授与の日付	昭和46年9月30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	胃癌細胞診の計量化に関する研究		
論文審査委員	教授 田中早苗	教授 小川勝士	教授 妹尾左知丸

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

胃癌細胞診を客観的に行なう目的で、胃癌140例、胃潰瘍140例、胃ポリープ20例、胃炎30例の手術胃から擦過塗抹標本を作り、剝離細胞の形態学的所見を統計的に処理し、胃癌細胞診の計量化を試みた。 $\chi^2$ 検定で吟味した12項目の細胞所見を用いて計量的に細胞判定を行ない、尤度法で誤診率2.1%、判別函数法で3.3%、細胞所見数法で2.7%の結果をえた。平均細胞所見数で癌群と良性病変群との間に統計学上有意差を認めたが、良性病変相互の間に有意の差はなく、癌群の組織型、胞胞異型度、深達度の相違にも有意の差はみられなかった。細胞所見の組合せによる細胞の判定では、核の多形性と核の優勢の組合せが最も有用で、ついで細胞相互間の所見の組合せが有用であった。

誤診例および判定境界域の症例には、単純癌、早期癌で露出面積の小さい癌が多く良性病変群では高度の慢性化生性胃炎を伴う胃潰瘍例が殆んどを占めていた。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、胃癌細胞診の計量化に関する研究であり、従来、客観的要素が介入する余地のなかった胃腔内剝離細胞診にたいして、客観性をあたえ、この方面にたいして新知見をもたらせたものとして、価値ある業績と認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。